

果樹の新たな品目

小粒イチジク

本県では、既に家計消費用のイチジクが栽培されていますが、新たに外食産業等から関心の高い、甘みが強い、外観が珍しい等の特徴を持つイチジクについて試験栽培・流通に取り組んでいます。

1 本県での有望品種、栽培形態等

有望品種



【コナドリア】
収穫期間は8月下旬～10月上旬
果実重は50gで甘み強い



【ゼブライト】
収穫期間は9月下旬～11月上旬
果実重は30g、特徴的な外観

栽培形態



高品質な果実を安定的に収穫するため・・・
・育苗ハウスを活用した雨よけ栽培
・移動可能なコンテナ栽培

2 生産・流通状況 (H24)

生産者数	流通量 (kg)	備考
2戸	—	H25 より本格出荷を開始

3 今後の取組

外食産業等のニーズに応えるため、新規生産者の発掘とともに栽培技術の確立（栽培マニュアルの作成）、流通体制整備等に取り組めます。